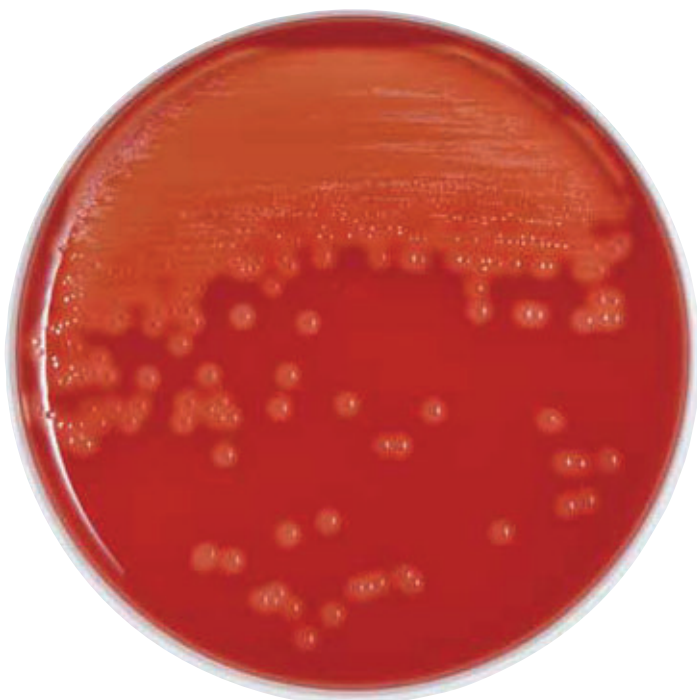


使用前培地

一般細菌用

TSII5%ヒツジ血液寒天培地

カタログ番号 251239 : 20枚 (10枚×2スリーブ)
251261 : 100枚 (10枚×10スリーブ)



Streptococcus pyogenes



Streptococcus pneumoniae

製品概要

TSII5%ヒツジ血液寒天培地は臨床材料からの*Streptococcus*属菌の分離・溶血反応の推定、栄養要求の厳しい細菌の分離培養のために使用されます。トリプチケース™ ソイII寒天培地に発育因子と脱線維ヒツジ血液を5%加えたもので、*Streptococcus*属菌の発育性、溶血反応に最も適した分離培地です。

組成 (精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	14.5g
大豆-パパイン消化ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
発育因子	1.5g
脱線維ヒツジ血液	50mL
寒天	14.0g
	pH7.3±0.2

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	良好な発育、α-溶血
ATCC 6305	
<i>Streptococcus pyogenes</i>	良好な発育、β-溶血
ATCC 19615	
<i>Staphylococcus aureus</i>	良好な発育、β-溶血
ATCC 25923	
<i>Escherichia coli</i>	良好な発育、β-溶血
ATCC 25922	

使用方法

- 1) 臨床材料の場合
細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線接種してください。
初代分離には炭酸ガスを要求する細菌が多いため、接種した培地はできるだけ早く35℃、二酸化炭素濃度3～5%の条件下で18～24時間培養します。
- 2) CAMPテスト
S. agalactiae (B群レンサ球菌) の推定に用いられる試験です。
①本培地の中央に*S. aureus* ATCC 33862を白金線を用いて画線接種します。
②*S. agalactiae*が疑われるコロニーを*S. aureus*の接種線に垂直に近付けて (2～3mm) 接触しないように画線接種します。
③陽性対照として*S. agalactiae* ATCC 12386、陰性対照として*S. pyogenes* (A群レンサ球菌) ATCC 19615を被検菌と同様に画線接種します。
④好気的条件下において35℃で18～24時間培養します。嫌気、炭酸ガス培養で試験をすると*S. pyogenes*による偽陽性反応がおきます。

※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。



使用前培地

一般細菌用 ヒツジ血液寒天培地 (T)

カタログ番号 251148 : 20枚 (10枚×2スリーブ)
251768 : 100枚 (10枚×10スリーブ)



Streptococcus pneumoniae

製品概要

ヒツジ血液寒天培地 (T) は臨床材料からの *Streptococcus* 属菌の分離・溶血反応の推定、栄養要求の厳しい細菌の分離培養のために使用されます。ヒツジ血液寒天培地 (T) は溶血反応にはまったく影響を与えず、*S. pneumoniae* (肺炎球菌) の発育を改良したもので、呼吸器材料からの *S. pneumoniae* の分離培養に適しています。

組成 (精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	14.5g
大豆-バイン消化ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
発育因子	2.0g
脱線維ヒツジ血液	50mL
寒天	14.0g
pH7.3±0.2	

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC 6305	良好な発育、 α -溶血
<i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC 19615	良好な発育、 β -溶血
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	良好な発育、 β -溶血
<i>Escherichia coli</i> ATCC 25922	良好な発育、 β -溶血

使用方法

- 臨床材料の場合
細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線接種してください。
初代分離には炭酸ガスを要求する細菌が多いため、接種した培地はできるだけ早く35°C、二酸化炭素濃度3〜5%の条件下で18〜24時間培養します。
- CAMPテスト
*S. agalactiae*の推定に用いられる試験です。
①本培地の中央に *S. aureus* ATCC 33862を白金線を用いて画線接種します。
② *S. agalactiae*が疑われるコロニーを *S. aureus*の接種線に垂直に近付けて (2〜3mm) 接触しないように画線接種します。
③陽性対照として *S. agalactiae* ATCC 12386、陰性対照として *S. pyogenes* ATCC 19615を被検菌と同様に画線接種します。
④好気的条件下において35°Cで18〜24時間培養します。嫌気、炭酸ガス培養で試験をすると *S. pyogenes*による偽陽性反応がおきます。

評価方法

- S. pyogenes*は半透明または不透明の灰色を帯びた小さなコロニー (1mm程度) または大きな (2〜4mm) 粒状またはムコイド状コロニーで β -溶血環に囲まれます。一般的に *S. agalactiae*の溶血環は *S. pyogenes*より小さく、*S. pneumoniae*は平滑、半透明、灰色、しばしばムコイドのコロニーをつくり、コロニーは特有の広い緑色の溶血帯に囲まれます。
- 溶血反応を示す他の細菌には *L. monocytogenes*, *Corynebacterium* spp., *S. aureus*, *E. coli*および *Pseudomonas* spp. などがあります。 *L. monocytogenes*は特徴的な狭い β -溶血です。
- CAMPテスト: *S. aureus*の発育線に最も接する β -溶血性レンサ球菌の発育線の端に、矢じり状または三角形の明瞭な溶血部分が認められた場合、CAMPテスト陽性となります。

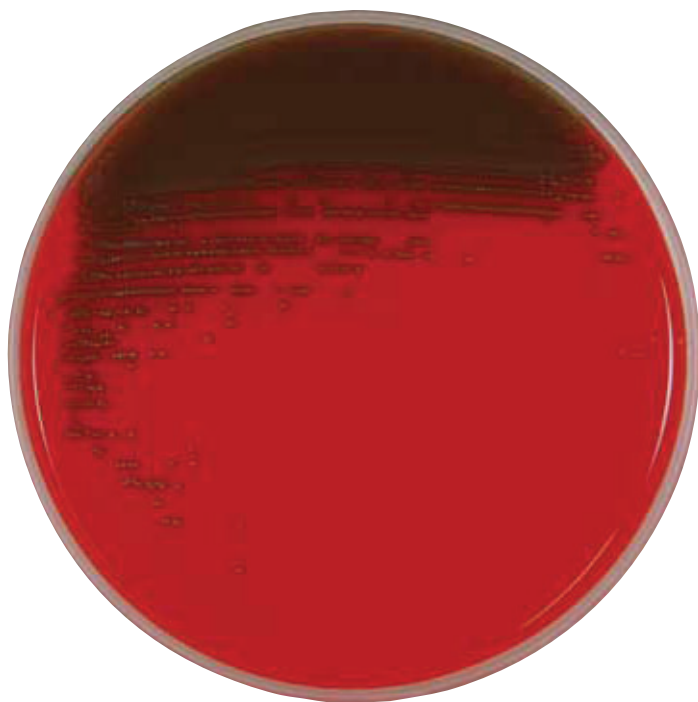
※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。



使用前培地

一般細菌用 ヒツジ血液寒天培地 (M)

カタログ番号 252202 : 20枚 (10枚×2スリーブ)
252201 : 100枚 (10枚×10スリーブ)



Streptococcus pneumoniae

製品概要

ヒツジ血液寒天培地 (M) は、臨床材料からの *Streptococcus* 属菌の分離培養、および溶血反応の推定、並びに栄養要求の厳しい細菌の分離培養に使用されます。本培地は、定評あるBD製血液寒天培地の溶血反応に影響を与えずに、*S. pneumoniae* などの発育支持能 (コロニーの大きさ、および発育スピード) のみを高めたものです。

組成 (精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	14.5g
大豆-ババイン消化ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
発育因子	1.5g
脱線維ヒツジ血液	50mL
寒天	14.0g
pH7.3±0.2	

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC 6305	良好な発育、α-溶血
<i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC 19615	良好な発育、β-溶血
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	良好な発育、β-溶血
<i>Escherichia coli</i> ATCC 25922	良好な発育、β-溶血

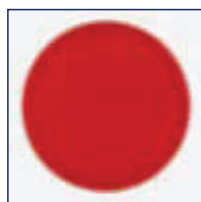
使用方法

- 臨床材料の場合
細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線接種してください。初代分離には炭酸ガスを要求する細菌が多いため、接種した培地はできるだけ早く35℃、二酸化炭素濃度3～5%の条件下で18～24時間培養します。
- CAMPテスト
S. agalactiae の推定に用いられる試験です。
①本培地の中央に *S. aureus* ATCC 33862 を白金線を用いて画線接種します。
② *S. agalactiae* が疑われるコロニーを *S. aureus* の接種線に垂直に近付けて (2～3mm) 接触しないように画線接種します。
③陽性対照として *S. agalactiae* ATCC 12386、陰性対照として *S. pyogenes* ATCC 19615 を被検菌と同様に画線接種します。
④好気的条件下において35℃で18～24時間培養します。嫌気、炭酸ガス培養で試験をすると *S. pyogenes* による偽陽性反応がおきます。

評価方法

- S. pyogenes* は半透明または不透明の灰色を帯びた小さなコロニー (1mm程度) または大きな (2～4mm) 粒状またはムコイド状コロニーでβ-溶血環に囲まれます。一般的に *S. agalactiae* の溶血環は *S. pyogenes* より小さく、*S. pneumoniae* は平滑、半透明、灰色、しばしばムコイドのコロニーをつくり、コロニーは特有の広い緑色の溶血帯に囲まれます。
- 溶血反応を示す他の細菌には *L. monocytogenes*、*Corynebacterium* spp.、*S. aureus*、*E. coli* および *Pseudomonas* spp. などがあります。*L. monocytogenes* は特徴的な狭いβ-溶血です。
- CAMPテスト: *S. aureus* の発育線に最も接するβ-溶血性レンサ球菌の発育線の端に、矢じり状または三角形の明瞭な溶血部分が認められた場合、CAMPテスト陽性となります。

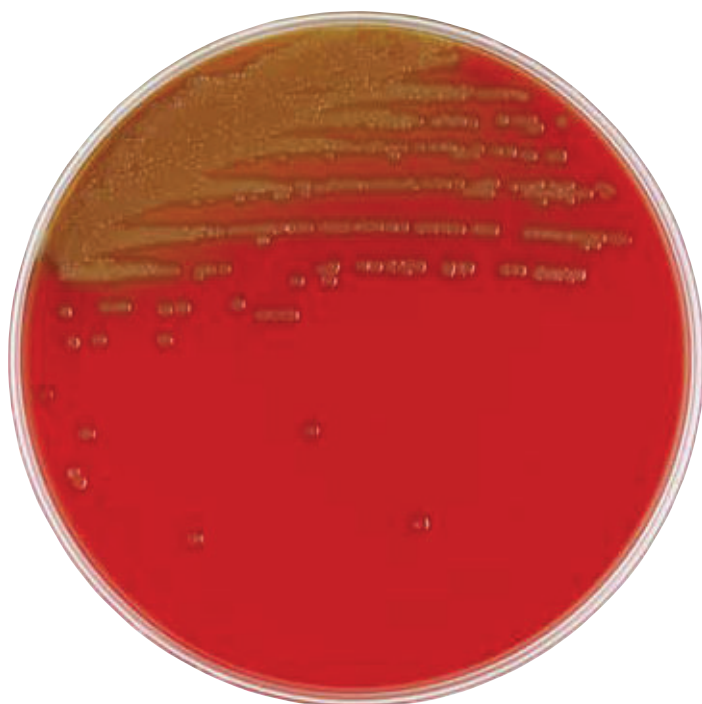
※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。



使用前培地

一般細菌用 ヒツジ血液寒天培地Z

カタログ番号 252792 : 20枚 (10枚×2スリーブ)
252954 : 100枚 (10枚×10スリーブ)



Streptococcus pneumoniae

製品概要

ヒツジ血液寒天培地Zは、臨床材料からの*Streptococcus*属菌の分離、溶血反応の推定、栄養要求の厳しい細菌の分離培養のために使用されます。BDの血液寒天培地の基本性能はそのままに、小型のコロニーを形成する*S. pneumoniae*を容易に分離できるよう、発育支持能(コロニーの大きさ、および発育スピード)を高めた製品です。

組成(精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	14.5g
大豆-ババイン消化ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
脱線維ヒツジ血液	50mL
寒天	14.0g
発育因子	
	pH7.3±0.2

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC 6305	良好な発育、α-溶血
<i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC 19615	良好な発育、β-溶血
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	良好な発育、β-溶血
<i>Escherichia coli</i> ATCC 25922	良好な発育、β-溶血

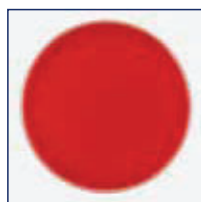
使用方法

- 臨床材料の場合
細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線接種してください。初代分離には炭酸ガスを要求する細菌が多いため、接種した培地はできるだけ早く35℃、二酸化炭素濃度3～5%の条件下で18～24時間培養します。
- CAMPテスト
*S. agalactiae*の推定に用いられる試験です。
①本培地の中央に*S. aureus* ATCC 33862を白金線を用いて画線接種します。
②*S. agalactiae*が疑われるコロニーを*S. aureus*の接種線に垂直に近付けて(2～3mm)接触しないように画線接種します。
③陽性対照として*S. agalactiae* ATCC 12386、陰性対照として*S. pyogenes* ATCC 19615を被検菌と同様に画線接種します。
④好気的条件下において35℃で18～24時間培養します。嫌気、炭酸ガス培養で試験をすると*S. pyogenes*による偽陽性反応がおきます。

評価方法

- S. pyogenes*は半透明または不明瞭の灰色を帯びた小さなコロニー(1mm程度)または大きな(2～4mm)粒状またはムコイド状コロニーでβ-溶血環に囲まれます。一般的に*S. agalactiae*の溶血環は*S. pyogenes*より小さく、*S. pneumoniae*は平滑、半透明、灰色、しばしばムコイドのコロニーをつくり、コロニーは特有の広い緑色の溶血帯に囲まれます。
- 溶血反応を示す他の細菌には*L. monocytogenes*、*Corynebacterium* spp.、*S. aureus*、*E. coli*および*Pseudomonas* spp.などがあります。*L. monocytogenes*は特徴的な狭いβ-溶血です。

※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。



使用前培地

一般細菌用 コロンビア5%ヒツジ血液寒天培地

カタログ番号 251165：20枚（10枚×2スリーブ）



Streptococcus pyogenes

製品概要

コロンビア5%ヒツジ血液寒天培地はコロンビア寒天培地を基礎培地に脱線維ヒツジ血液を5%加え、発育性にすぐれた一般細菌分離用培地です。血液寒天培地において重要な溶血反応の判定は可能ですが、ある種の*Streptococcus*属菌のβ-溶血反応がやや緑がかった色調になります。

組成 (精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	12.0g
動物組織-ペプシン消化ペプトン	5.0g
酵母エキス	3.0g
肉エキス	3.0g
トウモロコシでんぷん	1.0g
塩化ナトリウム	5.0g
脱線維ヒツジ血液	50mL
寒天	13.5g
	pH7.3±0.2

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC 6305	良好な発育、α-溶血
<i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC 19615	良好な発育、β-溶血
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	良好な発育、β-溶血
<i>Escherichia coli</i> ATCC 25922	良好な発育、β-溶血

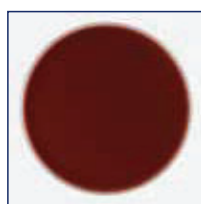
使用方法

細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線接種してください。初代分離には炭酸ガスを要求する細菌が多いため、接種した培地はできるだけ早く35℃、二酸化炭素濃度3～5%の条件下で18～24時間培養します。

評価方法

- S. pyogenes*は半透明または不透明の灰色を帯びた小さなコロニー（1mm程度）または大きな（2～4mm）粒状またはムコイド状コロニーでβ-溶血環に囲まれます。一般的に*S. agalactiae*の溶血環は*S. pyogenes*より小さく、*S. pneumoniae*は平滑、半透明、灰色、しばしばムコイドのコロニーをつくり、コロニーは特有の広い緑色の溶血帯に囲まれます。
- 溶血反応を示す他の細菌には*L. monocytogenes*、*Corynebacterium* spp.、*S. aureus*、*E. coli*および*Pseudomonas* spp.などがあります。*L. monocytogenes*は特徴的な狭いβ-溶血です。

※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。

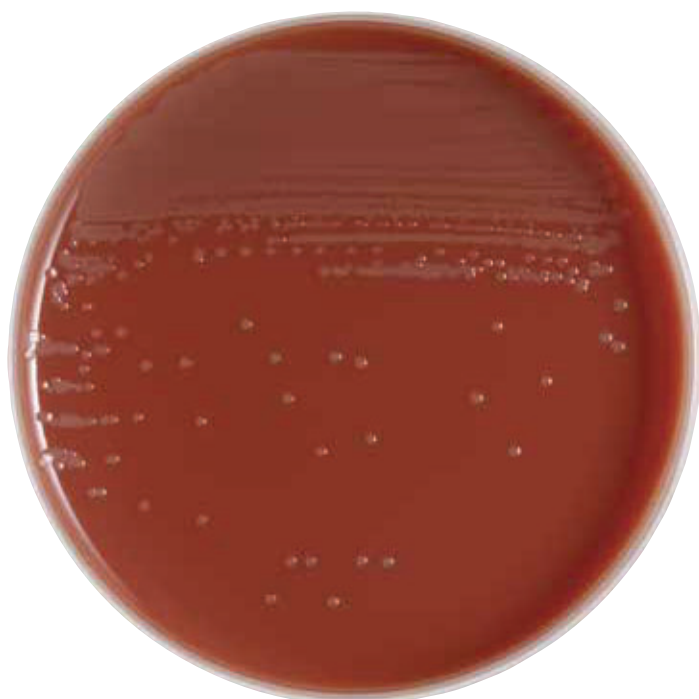


使用前培地

一般細菌用

チョコレートII寒天培地

カタログ番号 251169 : 20枚 (10枚×2スリーブ)
251267 : 100枚 (10枚×10スリーブ)



Neisseria meningitidis

製品概要

チョコレートII寒天培地は臨床材料から*Haemophilus*属菌、*Neisseria*属菌などの栄養要求の厳しい細菌の分離培養に用いられます。特に、淋菌を24時間以内で分離できるように改良された培地です。

従来のチョコレート寒天培地の問題点はウマ、ヒツジの血液を加熱することによる血清中の発育阻害物質の存在でした。

チョコレートII寒天培地はこれらの阻害物質を含まないGCII寒天培地に粉末ヘモグロビンとエンリッチメント(アイソバイタルX)を加えることにより作られています。これにより従来のチョコレート寒天培地ではできなかった淋菌の発育が18~24時間培養で可能となりました。

組成(精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	7.5g
動物組織-ペプシン消化ペプトン	7.5g
トウモロコシでんぷん	1.0g
リン酸一水素カリウム	4.0g
リン酸二水素カリウム	1.0g
塩化ナトリウム	5.0g
ヘモグロビン	10.0g
アイソバイタルX	10.0mL
寒天	12.0g
pH7.2±0.2	

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Haemophilus influenzae</i> ATCC 10211	良好な発育
<i>Haemophilus parainfluenzae</i> ATCC 51505	良好な発育
<i>Neisseria gonorrhoeae</i> ATCC 43069	良好な発育
<i>Neisseria gonorrhoeae</i> ATCC 35201	良好な発育
<i>Neisseria meningitidis</i> ATCC 13090	良好な発育
<i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC 6305	良好な発育
<i>Streptococcus pyogenes</i> ATCC 19615	良好な発育

使用方法

細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線接種してください。接種した培地はできるだけ早く35℃、二酸化炭素濃度3~5%の条件下で24~48時間培養します。淋菌の同定のためのコロニーの接種は24時間培養菌を使用します。

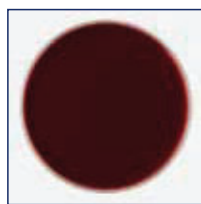
評価方法

チョコレートII寒天培地における典型的なコロニーは以下のとおりです。
H. influenzae 混濁した真珠様の小コロニー(1mm程度)、特有のマウス臭
N. gonorrhoeae 灰白色ないし無色のムコイド型小コロニー
N. meningitidis 青灰色、ムコイドの中型、ないし大型のコロニー
S. pneumoniae 光沢のある扁平な小コロニー、培地が緑変

製品の限界

チョコレートII寒天培地は高栄養培地なので、目的とする菌以外の細菌あるいは非病原性細菌が病原細菌の発育をしのぐことがあります。

※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。



使用前培地

一般細菌用

BYチョコレート寒天培地

カタログ番号 251138 : 20枚 (10枚×2スリーブ)
251750 : 100枚 (10枚×10スリーブ)



Haemophilus influenzae

製品概要

BYチョコレート寒天培地は臨床材料から*Haemophilus*属菌、*Neisseria*属菌などの栄養要求の厳しい細菌の分離培養に用いられます。特に、本培地は*Haemophilus*属菌、*Branhamella*属菌の分離培養に適します。従来のチョコレート寒天培地にウマ溶血血液を加えることによりコロニーの推定が容易になりました。

組成 (精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	7.5g
動物組織-ペプシン消化ペプトン	7.5g
肉エキス	5.0g
酵母エキス	5.0g
トウモロコシでんぷん	1.0g
リン酸一水素カリウム	4.0g
リン酸二水素カリウム	1.0g
塩化ナトリウム	5.0g
塩酸チアミン	10.0mg
カゼイン-酸加水分解ペプトン	1.0g
アインバイタルX	10.0mL
ウマ溶血血液	5.0%
寒天	12.0g
	pH7.2±0.2

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Haemophilus influenzae</i> ATCC 10211	良好な発育
<i>Neisseria gonorrhoeae</i> ATCC 43069	良好な発育
<i>Neisseria meningitidis</i> ATCC 13090	良好な発育

使用方法

細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線接種してください。接種した培地はできるだけ早く35°C、二酸化炭素濃度3〜5%の条件下で24〜48時間培養します。淋菌の同定のためのコロニーの接種は24時間培養菌を使用します。

評価方法

BYチョコレート寒天培地における典型的なコロニーは下記のとおりです。
H. influenzae 混濁した真珠様の小コロニー (1mm程度)、特有のマウス臭
N. gonorrhoeae 灰白色ないし無色のムコイド型小コロニー
N. meningitidis 青灰色、ムコイドの中型、ないし大型のコロニー
S. pneumoniae 光沢のある扁平な小コロニー、培地が緑変

製品の限界

BYチョコレート寒天培地は高栄養培地なので、目的とする菌以外の細菌あるいは非病原性細菌が病原細菌の発育をしのぐことがあります。

※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。



使用前培地

一般細菌用

ブレインハートインフュージョン寒天培地

カタログ番号 252109：20枚（10枚×2スリーブ）



Escherichia coli

組成 (精製水1L当り)

脳心筋浸出液 (固形)	8.0g
動物組織ーペプシン消化ペプトン	5.0g
カゼインーパンクレアチン消化ペプトン	16.0g
塩化ナトリウム	5.0g
ブドウ糖	2.0g
リン酸一水素ナトリウム	2.5g
寒天.....	13.5g
pH7.4±0.2	

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準
<i>Shigella flexneri</i> ATCC 12022	良好な発育
<i>Streptococcus pneumoniae</i> ATCC 6305	良好な発育

使用方法

細菌検査室に提出された検体は速やかに培地に画線塗抹してください。
初代分離には炭酸ガスを要求する細菌が多いため、接種した培地はできるだけ早く35℃、二酸化炭素濃度3～5%の条件下で24～48時間培養します。

※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。

製品概要

ブレインハートインフュージョン寒天培地は臨床、非臨床の各種検体から好気性、嫌気性を問わず多種類の微生物を培養できる培地です。



使用前培地

一般細菌用 トリプチケース™ ソイ寒天培地

カタログ番号 251185：20枚（10枚×2スリーブ）



Haemophilus influenzae

製品概要

分離菌の同定・感受性試験の前培養用培地、*Haemophilus*属菌同定試験のためのXV因子要求試験にも使用されます。(BD BBL™ タキソ™ X、V、XVディスク)

組成 (精製水1L当り)

カゼイン-胨消化ペプトン	15.0g
大豆-ババイン消化ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
寒天	15.0g
	pH7.3±0.2

品質管理基準

品質管理菌株/ATCC™	判定基準		
<i>Shigella flexneri</i> ATCC 12022	中程度～大きな灰白色の透明で、わずかに盛り上がった、ときにムコイドのコロニー		
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 25923	中程度～大きな光沢のあるクリーム色～黄色のコロニー		
	X	V	XV
<i>Haemophilus influenzae</i> ATCC 9334	-	-	+
<i>Haemophilus parainfluenzae</i> ATCC 9796	-	+	+

使用方法

*Haemophilus*の同定のための発育因子要求試験

- ①0.5McFarland に希釈した試験菌液を培地に画線接種します。
- ②BD BBL™ タキソ™ X因子ディスクとBD BBL™ タキソ™ V因子ディスクおよびBD BBL™ タキソ™ XV因子ディスクを正三角形型に、それぞれ30～35mm以上離して配置します。
- ③35±2°C、炭酸ガス濃度5～10%の条件下でできるだけ早く18～24時間培養します。
- ④ディスクの周囲、およびディスク間の増殖のパターンを確認します。

評価方法

BD BBL™ タキソ™ X、V、およびXV因子ディスクの製品説明書を参照してください。
発育因子要求試験はあくまでも推定的なので、その他の生化学的同定試験が必要です。

※最終的な病原菌の特定には体外診断用医薬品を用いた検査を実施してください。